

岡山大学構内遺跡調査研究年報 3

1985年度

岡山大学埋蔵文化財調査室

岡山大学構内遺跡調査研究年報 3

1985年度

岡山大学埋蔵文化財調査室

序

1985年度の調査室の事業は、出土遺物の整理や報告書作成の作業が中心となりました。1983年度に農学部構内で行った津島地区遺跡群の発掘調査の報告書を刊行することができましたし、また、附属病院外来診療棟建設に伴う発掘調査の出土遺物の整理作業なども大いに進展し、これも近く印刷に付することができる予定となっています。

発掘作業で得られたさまざまな資料を整理研究し、報告書を完成するまでには相当な期間を要します。遺跡での発掘作業と同じか、あるいはそれ以上の期間を必要とする場合も決して稀なことではありません。建設工事の増加にともなって遺跡での現場作業に追われる傾向が本学でも顕著となりつつありますが、緊急調査における報告書刊行の意義をいま一度おもしろくおこしてみても必要です。何百年、何千年とつづいてきた文化遺産の生命を現代の建設工事で絶ち切りざるをえなくなったとすれば、その遺跡をできるだけ高度な学問の力を集めて調査し、記録と研究成果を後世に伝えることが、現代人のせめてもの義務といわなければならないのではないのでしょうか。報告書を刊行しなければ決して発掘調査の事業が完了したことにならない、といわれるのもそのためにはほかなりません。

発掘調査後の整理研究作業には、期間ばかりでなく人手も経費も必要です。これらの諸条件を調査担当者だけの力でととのえることは、とても不可能なことで、施設建設の関係者をはじめとして多くの機関や個人の協力を得ることが必要となります。幸い本年度のこうした事業においては、岡山大学施設設定委員会埋蔵文化財保護対策検討専門委員会および岡山大学事務局の深い理解と協力を得ることができ、また調査研究にあたっては、文学部考古学研究室の援助もうけることができました。関係の機関および各位にあらためてお礼を申しあげる次第です。

1987年 3月

岡山大学埋蔵文化財調査室長

稲 田 孝 司

例 言

- 1 本年報は岡山大学構内において1985年4月1日から1986年3月31日までに実施した埋蔵文化財の調査と保存、および岡山大学埋蔵文化財調査室の活動成果をまとめたものである。
- 2 岡山大学構内の埋蔵文化財の調査に際しては、国土座標を測量等の基準としているが、岡山大学津島地区と同鹿田地区ではその設置基準を次のように定めた。
 - 1) 岡山大学津島地区では、国土座標第5座標系 ($X = -144,500, Y = -37,000$) を基点とし、一辺50mの方形の地区割をして遺跡の位置を表示した。また、津島キャンパスは調査の便宜上、津島北地区と同南地区に二分する(図版1)。
 - 2) 岡山大学鹿田地区では、国土座標第5座標系 ($X = -149,800, Y = -37,400$) を基点とし、座標軸をN15°Eに振ったものを構内座標とする。地区割は一辺5mの方形を用い、調査に対応した(図版4)。
- 3 岡山大学構内及び関連施設内の遺跡の名称は、農学部演習林内に分布する古墳群等の周知の遺跡の場合、そのまま踏襲する。津島地区構内で新たに発見された遺跡は、遺存する小字名を用いるか、岡山大学津島地区遺跡群と仮称し、地点ごとに任意の記号を用いて示す。また、鹿田地区ではこれまで用いられてきた「鹿田遺跡」を使用する。
- 4 表に記載した所属部は、原則として各学部の頭字を略号として用い、医学部附属病院等については医病という形で略した。
- 5 目次・挿図・本文中等で使用の調査番号は表1の番号に一致する。
- 6 遺構の実測は栄一郎・山本悦世・吉留秀敏が行った。遺構の浄写は山本悦世が、遺物の実測・浄写は栄・松岡かおり・山本が担当した。遺物の写真撮影は栄・山本が行った。
- 7 本文は第2章3の(1)を栄が執筆し、それ以外は山本が担当した。執筆者名は末尾に記した。
- 8 本年報に掲載の津島地区の地形は岡山市発行の1/2500の地形図を複製したものである。
- 9 編集は稲田孝司の指導のもとに山本が当った。

岡山大学構内遺跡調査研究年報3 1985年度

目 次

第1章	岡山大学構内埋蔵文化財保護対策要項	1
1	岡山大学施設設定委員会埋蔵文化財保護対策検討専門委員会規程	1
2	岡山大学埋蔵文化財調査室設置要項	2
第2章	1985年度岡山大学構内遺跡調査報告	4
1	調査の概要	4
2	試掘調査	6
(1)	津島地区	6
(2)	鹿田地区	14
3	立会調査	16
(1)	津島地区	16
(2)	鹿田地区	17
第3章	1985年度普及・研究活動	22
1	資料整理	22
2	刊行物	23
3	調査員の活動	23
第4章	1984年度以前の活動と1985年度の遺物保管状況	24
1	1984年度以前の構内主要調査	24
2	1984年度以前の刊行物	27
3	1985年度までの遺物収蔵量および保管施設	27
(1)	遺物収蔵量	27
(2)	保管施設	28
第5章	1985年度構内遺跡の調査および活動のまとめ	29

挿 図 目 次

図 1	教養部構議棟予定地試掘調査地点・柱状図	6
図 2	教育学部研究棟予定地試掘調査地点・柱状図	7
図 3	学生部男子学生寮予定地試掘調査地点	8
図 4	学生部男子学生寮予定地試掘調査柱状図	9
図 5	古地形復元図	10
図 6	学生部男子学生寮予定地古地形復元断面模式図	10
図 7	溝状遺構 1～3 断面図 (T P 6・5 東壁)	11
図 8	溝状遺構 4 断面図 (T P 1 西壁)	12
図 9	学生部男子学生寮予定地出土遺物 (1)	12
図10	学生部男子学生寮予定地出土遺物 (2)	13
図11	試掘調査④調査地点・柱状図・出土遺物	14
図12	溝状遺構 平・断面図 (T P 2)	15
図13	立会調査⑭深掘り部分層序	16
図14	立会調査⑥調査地点	17
図15	立会調査⑥東側調査地点柱状図・A地点遺構平面図	18
図16	立会調査⑥西側調査地点柱状図	19
図17	立会調査⑥西側調査地点 井戸・溝状遺構東壁断面図	19
図18	立会調査⑥出土遺物	20
図19	立会調査⑫—4 調査地点	21
図20	立会調査⑫—4 柱状図	21
図21	旧精神科棟	28

表 目 次

表 1	1985年度における調査一覧	4・5
表 2	1982年度以前の構内主要調査（1980～1982年度）	24
表 3	1984年度以前の構内主要調査（1983～1984年度）	25・26
表 3—(1)	発掘調査	25
表 3—(2)	試掘調査	25
表 3—(3)	立会調査	26
表 4	収蔵遺物の現状	27

図 版 目 次

図版 1	津島地区全体図
図版 2	津島北地区
図版 3	津島南地区
図版 4	鹿田地区全体図
図版 5	津島地区（教養部・教育学部試掘調査）
1	教養部 T P 2 南壁断面
2	教育学部 T P 1 東壁断面
図版 6	津島地区（学生部男子学生寮試掘調査）
1	T P 4 北壁断面
2	T P 9 西壁断面
図版 7	津島地区（学生部男子学生寮試掘調査）
1	T P 6 東壁断面（溝状遺構 1・3）
2	T P 5 東壁断面（溝状遺構 2）
図版 8	津島地区（学生部男子学生寮試掘調査）
1	T P 1 西壁断面（溝状遺構 4）
2	T P 1 南壁断面
図版 9	津島地区（学生部男子学生寮試掘調査）出土遺物
図版 10	鹿田地区（試掘調査④）
1	試掘調査地点（南から）

2 T P 1 南壁断面

図版11 鹿田地区 (試掘調査④)

1 T P 2 東壁断面

2 T P 2 溝状遺構完掘状況 (西から)

図版12 鹿田地区 (試掘調査④)

1 T P 3 西壁断面

2 T P 3 流木検出状況 (南から)

図版13 鹿田地区 (試掘調査④・立会調査⑥)

1 試掘調査④ 出土遺物

2 立会調査⑥ 遺構完掘状況 (東から)